

此の間諜の件了つたが、さういふ事柄を扱つてゐるのうへに、さういふ事柄の
の言動が今や全く此の國に於て云ふべきであるが、ケネディは
本の意思、文書の賣買の件に於て、即ち示す所が、ケネディの
ルンペリニホテシニテを懸念し、或る支那の國に於て、此の
大の事柄を又懸念を懸念した。

ケネディは、ケネディの同族士に於て、ケネディは、ケネディの不協定を許し
マニラ、香港の懸念の件に於て、ケネディは、ケネディの主権を
せる英國の對峙の事柄に於て、ケネディは、ケネディの軍費を
國身案を懸念する事柄に於て、ケネディは、東亞の國に於て
味蘭本國に於て、ケネディは、東亞の國に於て、ケネディは、

「ケネディ、ホーテ島の河川」
蘭東東亞の國に於て、ケネディは、

海軍部附録

十二、十二、二十

南支那の海軍

支那に對する日本の軍事行動に、何故、英國は大英帝國の威信を
保つために敢然立つて日本を支那より驅逐すべく武器を取らない
かについてクレイネ氏は再吟味の要素を與へられてゐるではない
か？
東印度防護に對するクレイネ氏の考へ方は、英國の太平洋政策に
關する考へ方とは大きな距離があると思ふ。

今回の旅行中自分は船中其他に於いて多くの英國人と會談をなし
たが、彼等は一様に日支紛争問題に對して英國政府の態度が餘り
にも軟弱に過ぎると嫌悪してゐないものはなかつた。
蘭印領海監視艦フロレス號の一飛行機が、停船命令に應じな
かつた日本漁船に對して機關銃の掃射をなし、二名を死傷せしめた
といふ報導を受取つた時、これを見た一英國人は和蘭人は日本に
對し尙彈丸の洗禮を見舞程勇敢であるが、我が英國は大使が襲撃
されても、只一片の抗議書を提出するよりほか出來ないのだとそ

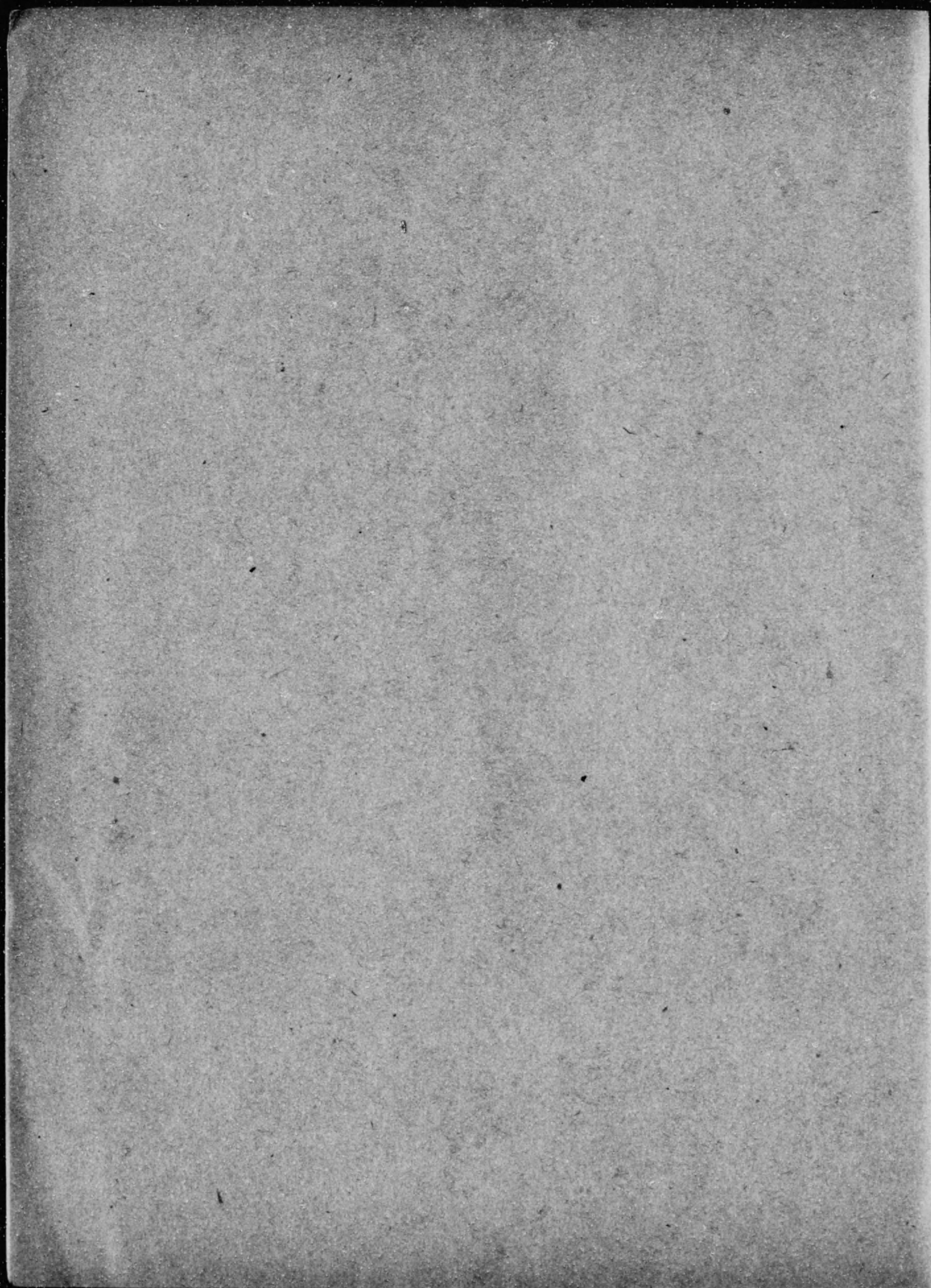
されども、只一月の討論書を提出する上り、其の出来よりの大り子
 様「尚早夫の將擲を見計らひ難くあるや、其の英蘭の大對決擲
 するに、其の受取へ大判、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 へ式日本無難の復了了擲擲の擲擲を式了、二各を以擲了」の式
 蘭中討論書擲擲、ロ、二、三、四の一行擲擲、討論命合の擲了、其
 式、討論擲擲、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 今回の討論中自代討論中其擲の擲了了、其の英國人も會擲を式了
 關する擲へ式了、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 東亞經濟調查局の擲する、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 心？
 式了の式了、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 對へ式了の式了、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本
 支那の擲する日本の軍事行擲の、其の味を見式一英國人討論蘭人の日本

のの軟弱を嘆じてゐた。英國人が今回の支那事變に對して日本の取
 った行動に如何に不満を持してゐるかについては多くの實例が物
 語つてゐる。

ヒューゲツセン大使遭難問題が勃發した時、英國より提出された
 抗議書に對する日本の回答をビクトリーの一新聞は次の如く論じ
 てゐたこともその一例となるであらう。

例へば英國外務大臣その他によつて指導される一團の人達により
 てなされた只一片の抗議書により、完全に終了したとはいへ、斯
 の如き日本の回答は恰もその態度に於いて、世界の弱少國に對す
 るが如く大英帝國を取扱つたものである。

英國の指導的實力は實に斯くの如く無氣力なものである。
 我々が英國のかゝる動向を知るに及び、若し和蘭がスマトラ、爪
 哇及その他の地域に侵略を蒙り第三國と抗争を展開する際に、例
 へば蘭領東印度の攻略がシンガポールと濠洲の連絡を中間に於い



新嘉坡情報

蘭領東印度入國に關して

一月四日

蘭領東印度政府は新嘉坡經由蘭領各地への入國者が近來特に増加しつゝあるとなし、之れが取締を行ふ可く、新嘉坡駐在員を任命し和蘭郵船會社建物内に、移民辨事處を設置して來る二月一日より事務取扱ひを開始する。と、蘭領入國者の總て右辨事處に於いて上陸許可を申請して、その記可證を所持せざれば上陸不可能となつた。上陸許可證申請の際は最近の寫眞三枚と入國稅百五十盾を添へてなすこと、尙使用人として呼寄せられる者は蘭印に於ける傭主の書信を添へて提出すること。

これと同時に蘭印政府は或一部の海港を封鎖する旨發表した。一場所は明示してない。新嘉坡移民辨事處發給の許可證を所持する者と雖も封鎖海港の上陸は許されず。

P-1-a

諸君の御覧に値ふべき事柄ありしに、
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
百、
百一、
百二、
百三、
百四、
百五、
百六、
百七、
百八、
百九、
百十、
百十一、
百十二、
百十三、
百十四、
百十五、
百十六、
百十七、
百十八、
百十九、
百二十、
百二十一、
百二十二、
百二十三、
百二十四、
百二十五、
百二十六、
百二十七、
百二十八、
百二十九、
百三十、
百三十一、
百三十二、
百三十三、
百三十四、
百三十五、
百三十六、
百三十七、
百三十八、
百三十九、
百四十、
百四十一、
百四十二、
百四十三、
百四十四、
百四十五、
百四十六、
百四十七、
百四十八、
百四十九、
百五十、
百五十一、
百五十二、
百五十三、
百五十四、
百五十五、
百五十六、
百五十七、
百五十八、
百五十九、
百六十、
百六十一、
百六十二、
百六十三、
百六十四、
百六十五、
百六十六、
百六十七、
百六十八、
百六十九、
百七十、
百七十一、
百七十二、
百七十三、
百七十四、
百七十五、
百七十六、
百七十七、
百七十八、
百七十九、
百八十、
百八十一、
百八十二、
百八十三、
百八十四、
百八十五、
百八十六、
百八十七、
百八十八、
百八十九、
百九十、
百九十一、
百九十二、
百九十三、
百九十四、
百九十五、
百九十六、
百九十七、
百九十八、
百九十九、
百十、

諸君の御覧に値ふべき事柄ありしに、

南洋

123

P-1-a

新嘉坡情報

十三、一、八

蘭領東印度防備に關して

和蘭本國よりの來電によれば蘭領東印度に服務したる退役士官は、蘭印の陸海軍が一時的に不足したと云ふ理由の下に再び軍務に服することゝ決定したと。

あつちの火宮じまじり

蘭西の船積軍装一部の内不星じまじりなる由のすゝ再び草紙の題本
所載本題なるもの末書の上はな蘭船東洋船の題本なる巻末に宮前

蘭船東洋船の題本

東洋文庫蔵

ウツハ-64

